

小学校でのコンピテンシー育成 授業のプランと実際

西岡 里奈

東京学芸大学附属小金井小学校





家庭科で求められる資質・能力

~小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編~

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、<u>生活をよりよくしようと工夫する資質・能力</u>を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭, 衣食住, 消費や環境などについて, 日常生活に必要な 基礎的な理解 を図るとともに, それらに係る技能を身に付けるようにする。 「知識及び技能」
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

「思考力, 判断力, 表現力等」

(3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

「学びに向かう力. 人間性等」

21CoDOMoS http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/21CoDOMoS/index.html

第五学年「おいしいみそ汁を作ろう」

<授業の概要>

時間	主な学習活動(時間数)	教師の指導・評価・留意点	
第1次(2時間)	・自分の日々の食生活をふり返る。	★自分の食生活に関心をも ち、具体的にふり返ることが できる。	
第2次(2時間)	・ 今までの生活経験をもとにみ そ汁を作ってみる。	★自分なりに考えて、みそ汁 の作り方を実践しようとして いる。	
第3次(1時間)	・おいしいみそ汁を作るために は何が重要かを、だしに注目 して考える。	★おいしいみそ汁を作るためには、だしの取り方が重要であることがわかる。	
第4次(2時間)	前次で学習したことをふまえて、みそ汁を作ってみる。	★前時に学習したことを活用 して、だしをとったみそ汁を作 ることができる。	
第5次(2時間)	・家庭実践に向けて、計画をたてる。	★自分の家族をイメージして、 みそ汁作りの計画をたてることができる。	

どうやって作る?

知•技

おいしく作るためには、 どうすればいい?

思•判•表

おいしいみそ汁を 作りたい!

主体的態度

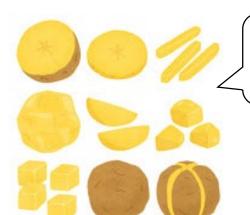




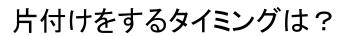
教科書やレシピ通りの みそ汁を 作れるようになる







どんな切り方にする?









みそ汁の実が変わったら、 どうする?



わかっていることと、わからないことを整理する



分からない部分が何かを児童に確認させることが、分かる部分の確認にもつながるため、 分からないことを教えてしまうのではなく、その確認のために分からないと書かせている。

調理手順を考えて、作ってみる



おいしく作る方法を吟味する



知識、汎用的スキル、態度・価値を育成する場面

学習したことを生かして、みそ汁を

つくる





この授業をとおして 育成したコンピテンシー

• 問題解決力、向上心

おいしいみそ汁を作るためには、どうようにしたらよいか 考え、課題を解決していく

協働する力、協力し合う心

自分の知識・技能だけでなく、友達と協力することで共に 目標を達成する

•批判的思考力、好奇心•探求心

様々な体験や話し合いから、わからないことを追及したり、物事を当たり前としないで多面的にみる

第五学年 題材名「寒い季節を快適に」

<授業の概要>

時間	主な学習活動(時間数)	教師の指導・評価・留意点
第1次 (1時間)	寒い季節の住まい方を 見直そう	自分の寒い季節の住まい 方をふり返ることができる
第2次 (1時間)	あたたかい衣服の着方を 考えよう	あたたかい衣服の着方や 特徴がわかる
第3次 (1時間)	暖房器具の適切な使い 方を考えよう	部屋をあたたかく快適に保 つための工夫を考えること ができる
第4次 (1時間)	日光を利用しよう	日光のはたらきと活用の仕 方がわかる
第5次 (1時間)	明るさを調整しよう	適度な明るさでの住まい方 を工夫することができる
第6次 (1時間)	家庭科室を快適にしよう	今までの学習をふまえて、 自分の住まい方を工夫する ことができる

快適な生活って?

知•技

快適にするために、 どうする?

思•判•表

自分たちの生活を、もっと快適にしたい!

主体的態度



快適な生活って、何?

なんで、寒いのに 換気をするの?





普段の生活を振り返る



換気の仕方を予想する

態度・価値を育成する場面



実験して、確かめる



実験結果を共有する



実験結果を実生活に還元する





効率のよい換気の仕方をまとめる



実生活で実践する





この授業をとおして 育成したコンピテンシー

- 伝える力
 - 自分の予想や考えをもって、相手にわかりやすく伝える
- 批判的思考力

身の回りの事象を当たり前と考えるのではなく、様々な 視点からみる

より良い社会への意識

より快適な生活をおくるために、自分ができることを考える

•好奇心•探求心

周りの人や環境に自分から働きかけ、関わろうとする

授業のポイント

- ・授業をとおして、どんな資質・能力を身に付けさせたいかを明確にする
- 子供たちの振り返りを充実させる
- 子供たちが実感をもって理解し、自分事として納得できるようにする

今後の課題

- 子供たちの資質・能力をどのように評価していくか
- 学習したことを子供たちが実生活にむすびつけていくために、どうしたらよいか
- どのように他教科との関連していくか。

引用•参考資料

- ・次世代教育研究推進機構が実施した各プロジェクトの研究活動報告書です。
 - 「OECDとの共同による次世代対応型指導モデルの研究開発」 プロジェクト 平成27年度研究活動報告書
 - ・「OECDとの共同による次世代対応型指導モデルの研究開発」 プロジェクト 平成28年度研究活動報告書
 - 「コンピテンシーの育成と評価」プロジェクト 平成28年度研究 活動報告書
 - 「OECDとの共同による次世代対応型指導モデルの研究開発」 プロジェクト 平成28年度研究活動報告書(小学校授業分冊 版)
 - 「OECDとの共同による次世代対応型指導モデルの研究開発」 プロジェクト 平成27~29年度研究活動最終報告書